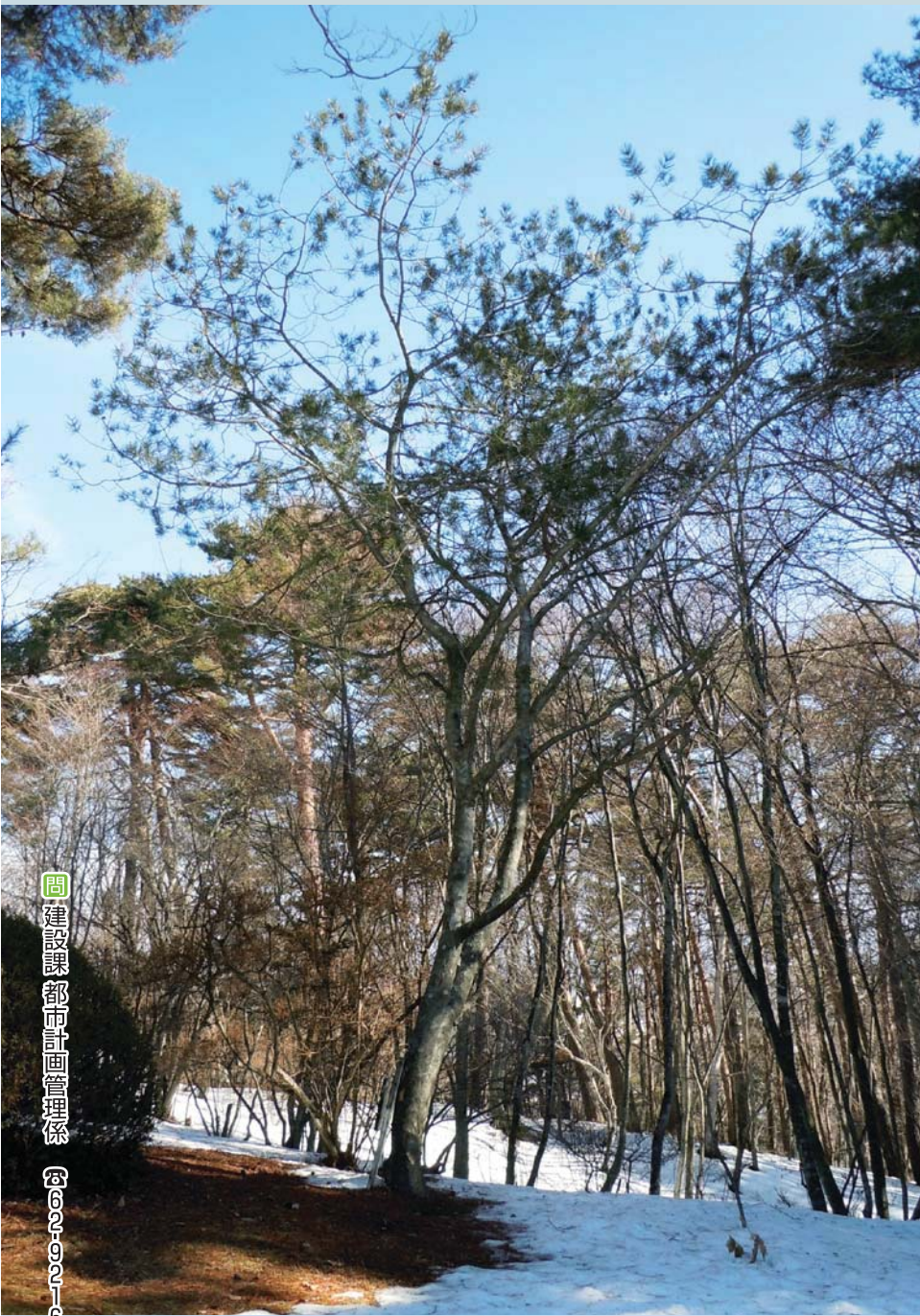


人生を良い方向へ導く、三鉢の松

富士見の景観

白林荘の建物の東側にシロマツ「白松」がある。直径は20cmほど。2本の幹が寄り添うように伸びている。この松を、広い庭先で探すのは難しかった。その葉は三葉で、木肌はすべらかで青白色、古い皮は鱗片状にはがれ落ちていた。清国末期の動乱の頃、中国の孫文が大養翁に大変世話になった事があり、厚い友情で結ばれた。そのお礼にと、平和と成功を願い、白松の盆栽が贈られたのだと言う。後に、鉢から庭先に移された。今も元気にそこにいる。

【樹木選定・評価 加々見二郎氏】



問 建設課都市計画管理係 026-222-0106



丸く剥がれる樹皮



針葉は3本1組

シロマツ【白松、白皮松、学名Pinus bungeana】マツ科マツ属。別名ハクショウ、サンコノマツ。中国中部から北西部原産の常緑高木。世界各地で珍重され、聖木として扱われることもあるようです。幼木時は成長が遅く、老木となると樹皮が薄く剥げおちて、灰色になるようです。高野山金剛峯寺の白松は、弘法大師が帰国の折、唐より投げた三鉢杵（さんごしゅう）が引っかかっていたとされる松で、三鉢杵と同じく三葉の松でした。現在は、縁起物として落葉を持ち帰り、お守りとしているようです。

「広報ふじみ」、町ホームページの「町民のページ」で有料広告を募集しています。詳しくは、<http://www.town.fujimi.lg.jp/index3.html> の「新着情報の一覧を見る」をご覧ください。

広告媒体	単位等	広告料
広報ふじみ	下1段(縦50ミリメートル、横175ミリメートル)	1回 5,000円
町のホームページ(町民のページ)	トップページ(縦60ピクセル、横150ピクセル)	月額 5,000円

富士見町民憲章

わたくしたちは、秀麗富士を望み、雄大な八ヶ岳と眺望豊かな入笠山にいだかれた高原の町、富士見町民です。この限りなく美しく、厳しい自然の中に住むわたくしたちは先人の心を受けつぎ、自然を愛し、豊かな調和のとれた田園の町の発展をめざして、この町民憲章をかかげます。

- 一 かけがえのない自然を守り、育てていく町民となろう。
- 一 心身を鍛え、明るく健康な町民となろう。
- 一 教養を高め、香り高い文化を創造する町民となろう。
- 一 仕事に誇りを持ち、産業の発展につくす町民となろう。
- 一 思いやりの輪をひろげ、住みよい郷土をつくる町民となろう。

- ◆町の人口と世帯数 平成25年2月1日現在(前月比)
住民基本台帳人口 男性/7,489人(-1) 女性/7,805人(+6) 合計/15,294人(+5) 世帯/5,772世帯(+16)
- ◆発行日 平成25年3月1日
- ◆編集・発行 富士見町役場 総務課 〒399-0292 長野県諏訪郡富士見町落合10777 TEL0266-62-2250(代) FAX0266-62-4481
- ◆ホームページ <http://www.town.fujimi.lg.jp> Eメール fujimi@town.fujimi.lg.jp ◆印刷 (有)富士見印刷

休日・夜間の緊急医電話番号案内 長野県救急医療情報センター
TEL 0120-890-422